

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E140P006		教育コミュニケーション力の開発 (Development of Educational Communication skills)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
選択必修	1	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用	後期	月1	日本語		単独						
担当教員	氏名 藤田 敦													
	E-mail a-fujita@oita-u.ac.jp 内線 7614													
授業の概要	本授業において受講者は、教師としての基本となる教育的コミュニケーションの能力向上を図る。具体的には、まず自らの思考を相手に伝えるための具体的な方法を学び、実践を通じてその能力を高める。さらに、学校で生じうる事例について適切な対応方法を具体的に考察するとともに、ロールプレイを通じて教育的コミュニケーションの能力を高める。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	自らの思考を相手にわかりやすく表現・説明することができる。							○						
目標2	実践を通して自らの思考を相手に伝える多様な方法を使うことができる。									○				
目標3	学校で生じうる事例について適切な対応方法を具体的に構想・計画することができる。									○				
目標4	ロールプレイにおいて教育的コミュニケーションを効果的に実践することができる。								○					
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								2	4	2	2			
授業の内容														
1 教師に必要なコミュニケーション能力														
2 子ども同士のコミュニケーション力を高める活動														
3 伝える技術～思いが伝わる話し方														
4 教育相談・生徒指導場面のコミュニケーション														
5 授業中のコミュニケーション～説明と発問														
6 保護者・同僚とのコミュニケーション														
7 トラブルが起きたときのコミュニケーション														
8 まとめ～楽しいクラスづくりに向けて														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
ライクニング	A:知識の定着・確認					ロールプレイや模擬授業などの体験を通して、自主的能動的な気づきを促す。	工	そ 夫 の 他 の						
	B:意見の表現・交換		○											
	C:応用志向		○											
	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		・指定された図書を通読してくる。(10h)											
	事後学修		・授業内容を振り返り、学習内容の整理を行う。(13h)											
	想定時間合計		23											
教科書		・教科書は使用しない。必要な資料は授業中に配布する。												
参考書		・授業中に資料を配付する												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	授業中のワーク		80%	○	○	○	○						
	期末レポート		20%	○	○	○	○						
注意事項		・教職志望者として不適切な行為や、他者への敬意を欠いた言動は禁止する。											
備考		この科目は『地域創生教育科目』です。											
リンク													
		URL											